

笑ってごらん

第 550 号 H. 28. 5. 24 発行

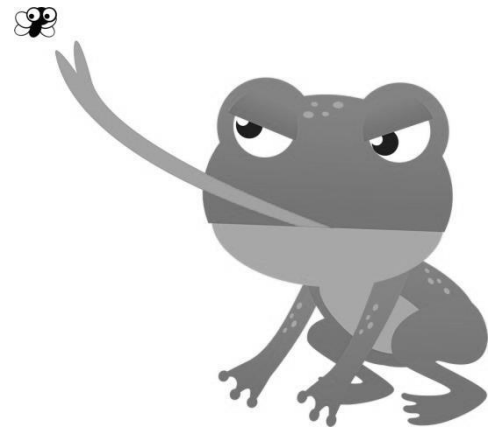
～今日のことば～

困った時に「ついてる」って言えないよね。
だから、口ぐせにするといいよ。

(齋藤一人)

◇◆たくさんの中学校から「高校説明会」のご案内があり、時間の都合のつく分は担当している。ある中学校でのこと。いつものように加齢に…、じゃない、華麗に説明を行っていた。近年、会場後方にはバスケットボールの試合の時に使う大きなデジタルタイマーが設置され、残り時間が表示されている。各学科の紹介をしている途中で「5分」を切った。「まずい、少しペースを上げなきゃ…」、そう思い、軽く深呼吸をした際、事件は起こった……。瞬間、自分でも何が起こったのかわからなくなったのだが、いきなり咽せて咳き込んでしまった。一旦マイクを外し、約 1.5 秒で状況把握に努めたところ、原因が判明した。深呼吸の瞬間、顔の周囲に飛んできた小さな虫を吸い込んでしまったようだ。吸い込んでしまった私もビックリし慌てたが、吸い込まれた虫も同様に必死である。喉の奥で今の状況から脱しようとしてジタバタ騒ぐ。説明を終えるまでそのままの状態。体育館を出てからの咳払いでようやく出てくれたと思われる。そんなこんなで気が散りまくっていたため、後半は何を話したのかほとんど記憶に無い…。「説明で的外れなことを言ってなければ良いが…」、いつまでも気になる。ムシのことだけに無視できないでいる。(寒!) ◇◆18日から県高校総体が始まり、女子テニスの開会式に赴いた。実は、現在、本校女子テニス部監督の藺牟田先生が県テニス専門委員長職にあり、連動して私が専門部長職になっている。

これまで県大会と会議出張などが重なり、大会役員としての業務に携われないでいた。今回、午前中は予定が無かったので、開会式で挨拶をするため出向いたのだ。その場で目にしたのは本校生が藺牟田専門委員長の指示の下、大会が上手く進むよう、様々な裏方作業に一生懸命従事している姿であった。非常にきびきびとして気持ちよかった。そのような大会運営上の苦労もありながら、今年も鳳凰テニス部は男女とも優勝の栄光に輝き、九州大会・全国大会へと進む。にこやかな笑顔を保ち、元気に試合を楽しんで欲しい。優勝おめでとう!!



感謝道

◇◆21日(土)、県青少年赤十字指導者協議会総会・研修会に出席した。研修会では「災害救助」に関する講話があり、事務局長様によれば、今回熊本での14日最初の地震が発生したのが [21:26](#)、[23:00](#) には災害警戒本部が設置され、翌 [04:07](#) には備蓄毛布 1,000 枚を車に積み込み、災害救助対策本部連絡要員として 2 名が出発したという。さすがに「素早い!」と感心した。その後も計画的に 3~4 日ごとに 6~7 名体制で救助チームを現地へ派遣されている。◆この会議で話題となったのが「風評被害」である。「募金を赤十字にやると、手数料みたいなものを取られて、全額は被災地へ届けられない」という意見があって残念、というもの。「確かに赤十字の活動資金は皆様から頂戴する寄付金によって成り立っているが、災害発生後に行われた募金の一部を運営費などにすることは一切無い」と改めて説明された。「誰が言い出したかわからないが、赤十字が非難されていることが悲しい」と多くの参加者からの声。このことから言えるのは、「物事を判断するにあたっては、一部の限られた意見に基づいた偏った見方をすることなく、正しい情報を入手し、適正な判断をしなければならない」ということである。今回話題となった一部意見も「赤十字ってイマイチよくわからないよね?」的などころからスタートしているような気がする。意見交換の末、「もっと広報に力を入れるべき」という結論に至った次第。